

株式会社システムアート

代表者 斉藤 比奈子

資本金 1,000万円

住所 秋田県秋田市外旭川字田中43-3

設立年月 平成3年7月

連絡先 TEL 018-864-7514

従業員 23人

FAX 018-864-7515

URL <http://system-art.net/>

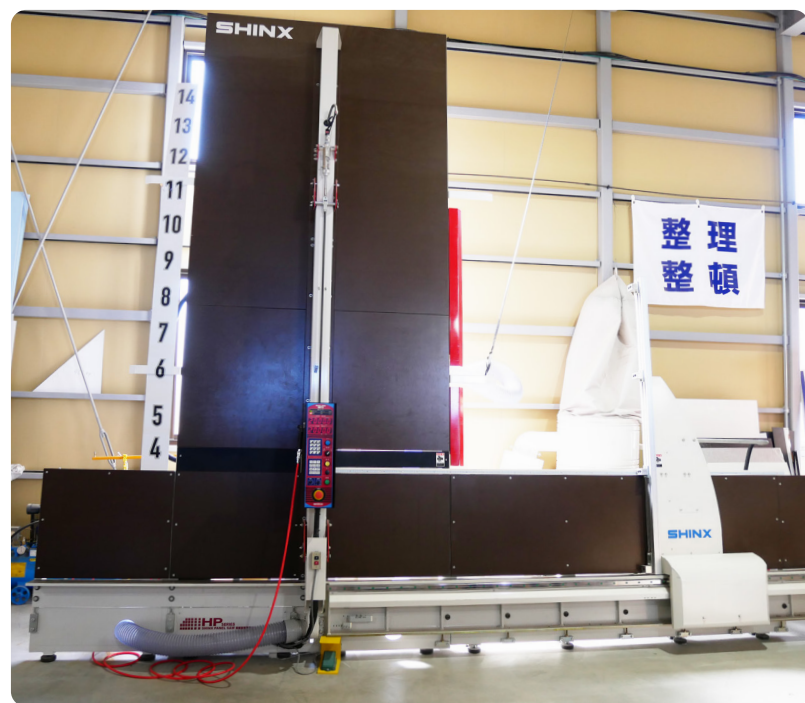
最新のCuttingマシン導入により看板製造工程における革新と内製化によるサービス向上を実現

当社は秋田市に本社を置く看板・プリント製品等の製造販売業者です。元々はシルクスクリーン印刷で創業しましたが、お客様のご要望に応える形で取扱品目を広げた結果、看板製作から、のぼり、横幕、半纏などの製作、マグカップ等のグッズ類へのプリントなど、印刷物に関するご要望に幅広くお応えできる体制となっています。今回は職人の手作業で行っていたパネルカット工程に最新のCuttingマシンを導入することで、多様化するお客様ニーズに対応できる体制とするため補助事業を活用させていただきました。

Question

Q 御社のモットーを教えてください。

A 面白く、楽しく仕事をするのが最高と考えています。人のご縁を大事にした、厳しくとも優しい経営を心がけています。



導入したパネルソー

代表取締役
斉藤 比奈子さん



本事業への取り組みの経緯

デザイン力を活かしたオシャレな看板・プリント製品に評価をいただき、県内外の看板業者や広告代理店、イベント会社から注文をいただいています。看板製造においては、突然の破損対応等によって極めて短納期で納品を求められるケースがありますが、当社ではパネルカット工程が職人の手作業が中心であったため即時対応が難しい状況でした。また、厚みのある素材やアクリル板などの硬めの素材、形が複雑な大型看板などは、高機能なCuttingマシンを保有する同業他社に外注していたため、製作時間が長くなるほか、コスト増にもなるため、お客様の要望に応えられず受注機会を逃がすことがありました。



導入したNCルーター

実施した内容(取り組みの詳細)

本事業取り組み前の当社の加工用機械は、多様なお客様のニーズに対応できず、止むを得ず外注せざるを得ない状況でした。この外注時間ロスによる納期限とのミスマッチで不成立となった案件が多く、相当悔しい思いをしました。

本事業で最新のCuttingマシンを導入するにあたり、パネルソーやNCルーターは大きな設備であるため、一連の設備を設置する工場を新設しました。また、専門の担当者を1名新規採用するとともに、互換性向上のために他の社員にも研修を実施し、操作可能な人材を複数育成しました。



NCルーターでのCuttingの様子



プレーナー(自動カンナ機)

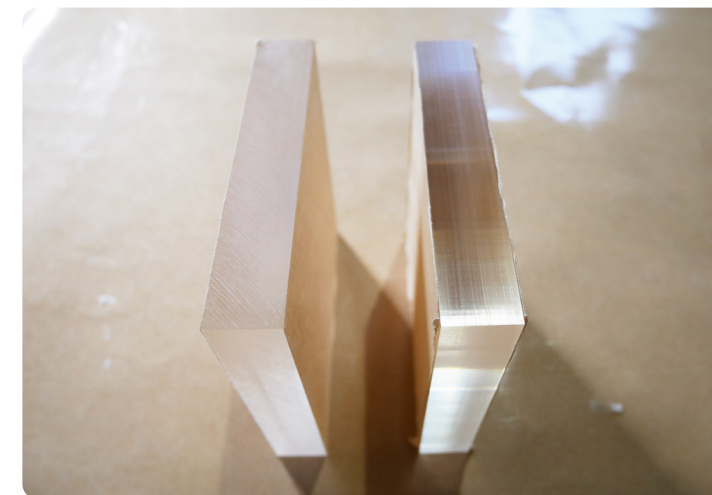
取り組みの成果・波及効果

最新のCuttingマシンを導入したことで、これまで逃がしていた案件の獲得が進んだほか、新規顧客へのセールスツールが獲得できたと考えています。Cuttingマシン操作におけるパソコン処理の習熟度が向上したことで、熟練職人の技の大部分を機械で対応することが可能となりました。熟練者のノウハウは、デザイン段階における後進へのアドバイスなどで活かされています。

また、従来は一人一役という効率性には手つかずの状態でしたが、Cuttingマシンの導入とそれにとりまう新規採用と社員研修を経て、少しずつですが社員の効率性に対する意識に良い変化が出ています。



ワンタッチメントリー(自動面取り機)



断面研磨前後のアクリル素材の比較

今後の展望・活動予定

今回のコロナ禍で印刷および看板業界は相当の影響を受けており、当社売上も非常に大きな影響を受けています。一方で、飛沫感染防止のパーテーションを全国から注文いただき、当社でアクリル資材を大量に保有していたためCuttingマシンがフル稼働しました。

今後お客様の要望はさらに高度化していくと推測されますので、機械・材料メーカー様からの情報収集は大事にしたいと考えています。また、当社はお客様からのご要望に応えるなかで成長してきた経緯がありますが、世の中で求められる物を考えることができる、クリエイティブな人材の育成を心がけていきたいと考えています。



布製品等へのプリントが可能な昇華転写プレス機を導入済み